

2005年9月30日

各位

アリジェン株式会社
東京都港区北青山1-5-12

**韓国LGライフサイエンス社と新規抗菌剤“FACTIVE®”の導入に関する
独占ライセンス契約を締結**

アリジェン株式会社（社長兼CEO：所 透）は、韓国のLGライフサイエンス社（LG Life Sciences Ltd；社長兼CEO：Heung Joon Yang）と、既に米国市場で許可を取得（2003年）し販売されている新規ニューキノロン系合成抗菌剤“FACTIVE®”（当社開発コード：ARB-FV0127）の日本での開発及び販売についての独占ライセンス契約を2005年9月28日付で、締結致しました。

LGライフサイエンス社は、韓国を代表するLGグループの製薬会社であります。

“FACTIVE®”は同社により開発、上市された抗菌剤であり、韓国製薬業界としては初めて米国FDAの承認が得られた新薬でもあります。米国以外では韓国、カナダ、ニュージーランドなど10カ国以上で既に承認されており、米国では昨年9月から販売が開始され、今年度は約40億円の売上が見込まれております。

“FACTIVE®”はGemifloxacin mesylateを有効成分とする、新規のニューキノロン系合成抗菌剤で、幅広い抗菌スペクトルかつ強力な抗菌活性を有し、各種薬剤の耐性菌に対しても有効性を示します。日本国内のニューキノロン系抗菌剤の市場規模は7百億円を超えており、増加傾向にあります。

現在、米国等での適応症は呼吸器感染症のうち、慢性気管支炎の急性増悪（AECB）、市中肺炎（CAP）、急性細菌性副鼻腔炎（ABS）となっており、一日一回一錠（5又は7日間）の服用で治療効果を発揮致します。

アリジェン社は、感染症分野に特化した創薬メディカルベンチャー企業であり、これまで日本発の創薬シードに焦点を絞って来ていますが、世界を代表する国際企業グループであるLGグループからの今回の抗菌剤“FACTIVE®”の導入実現は、図らずも、弊社の独創性と対外交渉力の優位性を、極めて具体的に示すものであります。また、これまでのパイプラインにないFDA承認薬の導入は、弊社全体の研究開発期間の平均的開発スピードが一気に短縮することを意味しており、創薬メディカルベンチャーのビジネスモデルにおける極めて重要かつ意義深いマイルストーンの構築と考えております。

参考：

LGライフサイエンス社 (<http://www.lgls.co.kr>) は韓国の財閥LGグループのLG化学の製薬部門として1984年にスタートしました。2002年にLGライフサイエンスとして韓国初の生命科学に特化した会社として分離独立し、ソウル証券取引所に上場しています。医薬品、原薬中間体、動物薬、農薬を主力とし、海外製薬企業との提携により先端バイオ製品の事業化を目指しております。

医薬品分野では循環器薬、抗菌剤、泌尿器薬、産婦人科薬に注力しており、特に泌尿器科領域ではホルモン剤のラインアップが充実しています。

アリジェン株式会社 (<http://www.arigen.jp>) は感染症分野において新規の化学構造、治療効果を持つ医薬品の発見と研究開発に特化した日本の創薬メディカルベンチャー企業であります。

当社は医薬品の開発の過程において総合的なビジネスインフラストラクチャを提供し、発見された医薬品を効率良く目標とする段階までインキュベートしています。

以上



H. J. Yang LGライフサイエンス社長 と 所 アリジェン社長

本件に関するお問い合わせ先

アリジェン株式会社 戦略開発本部

TEL:03-3401-5739

FAX:03-5414-2768